

にん よう せい

妊孕性とは

妊娠するための力を妊孕性と言います。

妊孕性温存療法は、がん患者さん等が
将来子どもを授かる可能性を残すために、
がん治療の前に胚（受精卵）や卵子、
精子の凍結保存などを行い
妊孕性を温存する療法です。

がん治療の中には、
将来の妊娠に対して
影響を与えるものがあります。

手術療法

女性の場合：子宮全摘、卵巣摘出など
男性の場合：精巣摘出など

抗がん化学療法

抗がん剤の種類・投与量による
（影響の少ない抗がん剤もある）

放射線療法

放射線の量、照射部位による
（影響を与えないこともある）

ホルモン療法

長期ホルモン療法による
生殖機能の低下

※妊孕性温存療法の適応となるかどうかは
主治医と相談してください。



一人で、
ご家族だけで悩まないで。
私たちがサポートします。

思いもかけず悪性腫瘍と診断を受けた方、
またそのご家族の方、
今はその病気の治療や予後について、
不安でいっぱいなと思います。
そんななか、「将来、自分が子どもをもうけるかどうか」
までは、なかなか思いが寄らないかもしれません。
でもご安心ください。
わたしたち、千葉県がん・生殖医療相談支援センターは、
そんなご不安を抱えていらっしゃる方に、
今何ができるか、
そのためには何処で何をしたらよいか、
情報を提供し、ご希望に沿った
医療が受けられるよう支援します。

千葉県がん・生殖医療相談支援センター
（千葉県がん・生殖医療ネットワークCOFNET事務局）



043-226-2749

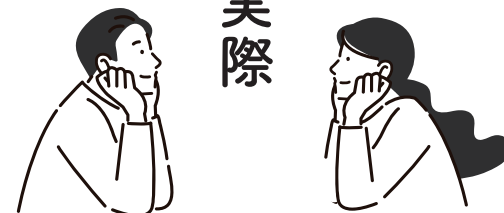
平日9時～17時（祝・祭日を除く）



千葉県がん・生殖医療
ネットワーク



妊孕性温存療法の実際



がん治療後の妊娠をあきらめない

妊孕性温存療法を

ご存知ですか？



千葉県がん・生殖医療相談支援センター

▼がんと診断されました

治療を受けるにあたって
妊孕性^{にんようせい}に影響がある？



はい



将来、妊娠・出産する
可能性を残したい

はい



主治医に相談し
許可があるか

はい

妊孕性^{にんようせい}温存療法
実施施設への紹介、
カウンセリング



いいえ

いいえ

いいえ

まずは
治療を優先！

妊孕性^{にんようせい}温存療法を
希望しない

妊孕性^{にんようせい}温存療法を
希望する



がん治療の開始

妊孕性^{にんようせい}温存療法の
実施

妊孕性^{にんようせい}温存療法の進め方

がんの治療が最優先です。

がんの治療を行なっている主治医と相談してください。
妊孕性^{にんようせい}温存療法は主治医の許可が必要な療法です。

相談無料

Q 妊孕性^{にんようせい}温存療法について
相談したい方は

A ご本人・ご家族のご相談をお受けしています。
千葉県がん・生殖医療相談支援センター



043-226-2749

平日9時～17時（祝・祭日を除く）

Q 様々な費用のことが心配。
どうすればいいの？

A 千葉県では、妊孕性^{にんようせい}温存療法および
温存後生殖補助医療に要する費用の一部を
助成しています。
詳しくは千葉県のHPをご覧ください。

千葉県小児・AYA世代のがん患者等の
妊孕性^{にんようせい}温存療法研究促進事業



Q 妊孕性^{にんようせい}温存療法って
どこで受けられるの？

A 全国にある指定医療機関にて可能です。



千葉県の指定
医療機関はこちら▶



▶▶医療関係者の方へ

将来子どもを持つことを希望する患者さんがいらっしゃいましたら、
がんの治療開始前に、妊孕性^{にんようせい}温存療法実施施設へご紹介ください。
紹介状の様式を右記よりダウンロードできますので、ご利用ください。



千葉県がん・生殖医療
ネットワーク

